

2025年のねじ産業に関する報告

Report for Fastener Industry in 2025

2026年 7 月

Jul./2026

【IB】イワタボルト

〈SOFI Series〉
Report for Fastener Industry in 2025
15, July, 2025
IWATA BOLT Co., Ltd.

〈SOFI シリーズ〉
2025年のねじ産業に関する報告
2026年7月15日
編集・作成 イワタボルト(株)総務課

2025年のねじ産業に関する報告

2026年 7 月

はじめに

2025年を振り返ってみますと、日本経済は賃上げの広がりや設備投資の回復を背景に、緩やかな景気回復基調を維持しました。一方で、物価上昇が家計の負担となり、個人消費の回復は力強さを欠く状況が続きました。自動車生産は認証問題からの回復が進み、半導体関連投資も堅調に推移しましたが、円安の長期化による輸入コストの上昇や人手不足の深刻化が企業経営に大きな影響を与えました。海外では、中東情勢やロシア・ウクライナ情勢など地政学リスクが継続したほか、米国ではトランプ政権の関税政策強化が世界経済への新たな懸念材料となり、中国経済も不動産市場の低迷や内需不足から力強さを欠く状況となりました。

このような状況下で、大和総研が2026年初に公表した日本経済見通しによりますと、日本の実質GDP 成長率は2025年度で概ね0.7%程度と見込まれ、緩やかな回復基調を維持すると予測されています。海外では、米国は関税政策や高金利の影響を受けながらも底堅い成長を維持し、ユーロ圏は低成長、中国は政府の景気対策を講じるものの4%台後半の成長にとどまる見通しとなっています。世界経済全体ではインフレは落ち着きつつあるものの、保護主義の拡大や地政学リスクが引き続き景気の下押し要因として懸念されています。

一方、2025年の国際経済で注目されたのは、各国の金融政策の転換が本格化したことです。米国や欧州ではインフレ率の鈍化を背景に利下げ局面へ移行し、金融引き締めから緩和への流れが進みました。一方、日本では日銀が追加利上げを実施するなど金融政策の正常化を段階的に進め、長期金利の上昇や円相場の変動が企業活動へ影響を及ぼしました。しかしながら、ウクライナ情勢や中東情勢に加え、米中間の貿易摩擦や関税政策の強化など、不透明要因は依然として多く残されています。2026年に向けては、各国が物価安定と景気維持の両立を図る金融政策に加え、国際貿易やサプライチェーンの安定化をどのように進めるかが重要な課題となっています。

日本の鉱業・製造業の活動状況を総合的に示す鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整済み）は、2025年12月時点で前月比0.1%低下し、2ヶ月連続のマイナスとなりました。生産用機械工業や化学工業などが低下した一方、自動車関連を中心に底堅い

動きもみられています。製造工業生産予測調査では2026年1月は増産、2月は減産が見込まれており、経済産業省は基調判断を「生産は一進一退で推移している」に据え置いています。先行きについては、世界経済の動向や通商政策の影響を引き続き注視する必要があります。

2025年12月の生産の上昇に寄与したのは、15業種のうち7業種となっています。その内訳は、汎用・業務用機械工業（コンベヤ、試験機、分析機器等、前月比7.3%増、前年同月比6.0%増）、電気・情報通信機械工業（半導体・IC測定器、セパレート形エアコン、超音波応用装置等、前月比2.7%増、前年同月比0.5%増）、自動車工業（普通乗用車、普通トラック、特装ボデー等、前月比1.4%増、前年同月比0.3%増）、電子部品・デバイス工業（モス型IC（メモリ）、固定コンデンサ、混成IC等、前月比2.6%増、前年同月比7.6%増）、石油・石炭製品工業（重油、ガソリン、灯油等、前月比3.0%増、前年同月比1.8%増）、窯業・土石製品工業（炭素製電極、安全ガラス等、前月比1.4%増、前年同月比1.0%減）、金属製品工業（飲料用アルミニウム缶、ばね、スチール製缶等、前月比1.0%増、前年同月比3.8%減）、低下した業種は、15業種のうち6業種が占めています。その内訳は、化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）（乳液・化粧水類、石けん類、頭髮用化粧品等、前月比3.4%減、前年同月比19.3%増）、生産用機械工業（半導体製造装置、食料品加工機械、フラットパネル・ディスプレイ製造装置等、前月比1.5%減、前年同月比5.3%増）、その他工業（乗用車用タイヤ、炭素繊維、合成繊維（長繊維）等、前月比1.2%減、前年同月比1.4%減）、パルプ・紙・紙加工品工業（製紙パルプ、段ボールシート等、前月比3.1%減、前年同月比5.9%減）、輸送機械工業（除. 自動車工業）（航空機用機体部品、船用ディーゼル機関、航空機用発動機部品等、前月比2.0%減、前年同月比13.3%増）、無機・有機化学工業（フェノール、合成アセトン、ビスフェノールA等、前月比0.1%減、前年同月比2.8%減）、横ばいの業種は、15業種のうち2業種です。その内訳は、鉄鋼・非鉄金属工業（通信用ケーブル光ファイバ製品、伸銅製品、鉄系鍛工品等、前月比増減なし、前年同月比2.8%減）、プラスチック製品工業（プラスチック製容器（中空成形）、プラスチック製機械器具部品等、前月比増減なし、前年同月比1.8%減）でした。

日本鉄鋼連盟が発表した鉄鋼生産概況によると、2025年の粗鋼生産量は、8,067万1千トン（前年比4.0%減）と前年に比べ333万8千トン減少し、4年連続の減少となり、また、3年連続で8,000万トン台となりました。2021暦年（9,633.60万トン）比では、16.3%減となりました。



また、2025年12月度の自動車生産台数は、69万1,156台で前年同月比1.9%増となりました。2025年1月～12月までの四輪車生産台数は841万334台で前年比2.1%増となり、前年実績を上回りました。

一方、日本電機工業会が1月26日に発表した民生用電気機器（電気冷蔵庫・電気洗濯機・ルームエアコン等）の2025年12月度における国内出荷金額は2,563億円、前年同月比0.3%増と4ヶ月連続のプラスとなりました。

製品別の国内出荷額をみると、ルームエアコンは631億円、前年同月比5.8%増となり、4ヶ月連続のプラス、電気冷蔵庫は339億円、前年同月比5.0%減で、3ヶ月連続のマイナス、電気洗濯機は403億円、前年同月比0.4%増で、3ヶ月ぶりのプラスとなりました。

年間出荷額は、2兆6,418億円、前年比2.4%増と2年連続のプラスとなりました。2025年夏は全国的な暑さなどの影響からルームエアコンの出荷がけん引し、1991年に次ぐ過去2番目の出荷金額でした。そのほか、食器洗い乾燥機や電気シェーバーが数量・金額ともに前年を上回り、好調に推移しました。

また、電子情報技術産業協会が1月23日に発表した民生用電子機器（薄型テレビなど映像機器、オーディオ関連機器、カーAVC機器）の2025年1月～12月国内出荷額は、1兆134億円で前年比3.2%減となっています。

薄型テレビなどの映像機器の出荷額は、前年比6.8%減の4,885億円、オーディオ関連機器は、前年比5.2%減の617億円、カーAVC機器は、前年比1.2%増の4,633億円となっています。

機械工業における設備投資の動向を反映する工作機械の受注状況について、日本工作機械工業会の発表によると2025年の工作機械受注額は前年比8%増の1兆6,039億円でした。年後半にかけて海外向けの受注が拡大し、3年ぶりのプラスとなりました。

海外向けは12% 増の1兆1,634億円となり, 2年連続でプラスを維持しました。北米の航空機産業や自動車向けが堅調で, 米国の関税政策を反映した値上げも受け入れられました。中国では半導体やデータセンター関連の投資が需要をけん引しました。国内向けは0.3% 減の4,404億円にとどまり, 前年割れは3年連続となりました。航空宇宙や造船向けは大幅に伸びたものの, 工作機械の主要なユーザーである自動車関連企業による投資が鈍く, これにより, 2025年の受注額に占める海外向けの比率は73% となりました。

国土交通省が4月30日に発表した2025年の新設住宅着工戸数は, 前年比12.9% 減の711,171戸で, 2年ぶりの減少となり, リーマンショックの影響を受けた2009年以来, 80万戸を下回りました。種類別では, 持ち家が195,111戸, 前年比12.6% 減, 分譲住宅は, 200,563戸 (マンション82,881戸で前年比21.2%減, 一戸建住宅115,200戸で前年比5.9% 減) で前年比12.6% 減, 貸家は, 308,906戸で前年比13.5% 減となっています。地域別の総戸数では, 首都圏が5.9% 減, 中部圏が7.1% 減, 近畿圏が1.6% 減となりました。

このような2025年の動向の中で、イワタボルトはお客様の多様な要望に的確にお応えしていくために、国内および海外部門にて、最新鋭機械・装置の導入をはじめ積極的な設備投資、商品開発を推進しました。

事業所の近況において、このたび、弊社アトランタ支店は、1989年にジョージア州カレッジパークに事務所を開設以来、2002年に 同州フォレストパークへ移転し、ジョージア州にて36年の歩みを続けてまいりました。このたび、業務の一層の充実とサービス向上を図るため、2025年10月に下記のとおり事務所を移転しました。

会社名／支店名 : IWATA BOLT USA INC. Atlanta Branch
営業開始日 : 2025年10月1日
新住所 : 3354 CATALINA DRIVE, SUITE 300
CHAMBLEE, GEORGIA, USA 30341
電話番号 : 404-762-8404 (変更なし)
FAX番号 : 404-669-9606 (変更なし)
現地責任者 : 辻 有樹 Branch Manager (所長代理)



イワタボルト上海は、2001年の設立以来、中国・上海市外高橋保税區にて事業を展開し、皆様のご支援のもと、24周年を迎えることができました。この度、イワタボルト上海は下記の住所へ2025年11月に移転致しました。移転先は従来の約1.2倍の倉庫スペースを確保し、華東・華北・東北地域のお客様へのサービス向上および安定供給の強化を図ってまいります。

会社名：IWATA BOLT (SHANGHAI) CO.,LTD. 岩田螺絲（上海）有限公司

営業開始日：2025年11月21日

新住所：Part E, No.28 F6-C BLD, 500 Fute East Two Road,

China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone, P.R.China ZIP200131

中国（上海）自由貿易試験區富特東二路500号 F6C-28#E 部 〒200131

電話番号：+86 (21) 5046-3037（変更なし）

FAX 番号：+86 (21) 5046-3038（変更なし）

現地責任者：柴田 晴喜 Branch Manager（所長代理）



この度、久留米営業所はお客様への供給体制の強化および業務効率の向上、さらなる事業拡大を目的として、佐賀県三養基郡基山町に「佐賀営業所」として、新築移転する運びとなりました。2025年12月4日（木）に新設地において地鎮祭を執り行いました。前日から急激な寒波に見舞われたものの、当日は風も穏やかで、整えられた祭場設営に加え、防風・防寒対策も施されており、参列者が寒さを覚えることなく和やかな雰囲気の中で式典を進めることができました。関係者一同、工事期間中の安全と今後の発展を祈念し、滞りなく終了いたしました。新築工事は2026年1月着工、8月末竣工予定です。九州自動車道・鳥栖インターチェンジに近く、利便性に優れた立地で、敷地面積は2,151.9㎡、社屋の延べ床面積は1,105.1㎡を予定しております。正式な移転日程が決まり次第、改めてお取引先各社へご案内申し上げます。「お客様第一」を原点に、より一層のサービス向上に努めてまいります。



地鎮祭式次第



玉串奉奠



岩田社長による刈初めの儀



山田社員、西岡所長代理、岩田社長、岩田常務、尾形所長、中野社員

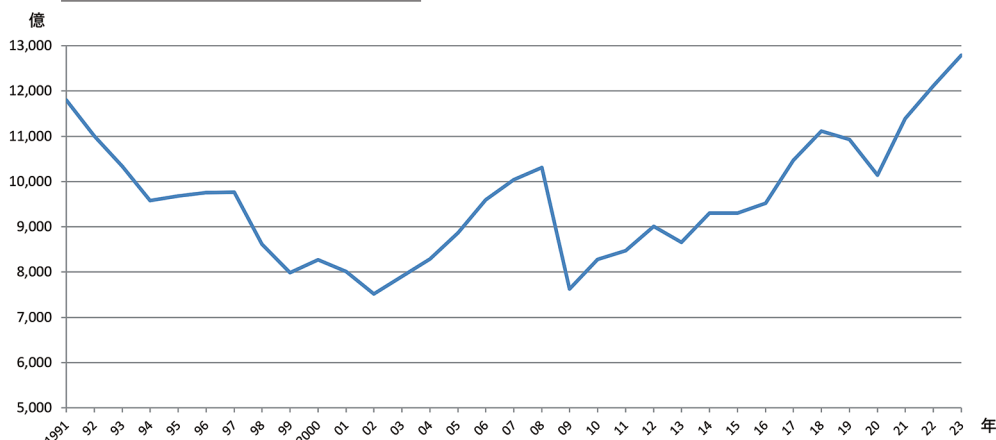
1. ねじの生産と出荷

我が国のねじ生産と出荷の状況は、2022年4月以降、総務省と経済産業省が共同で実施する「経済構造実態調査」の一部として実施され、最新の調査結果は2025年8月29日に発表されました。調査対象が従来の「従業者4人以上の事業所」から「全事業所」へと拡大され、より包括的なデータ収集が可能となりました。

2023年の全事業所ねじ総出荷額は、1兆2,789億8,200万円でした。（グラフ－1）

ねじの出荷額の推移：4人以上事業所（1991年がピーク）
※2021年以降は全事業所の出荷額

（グラフ－1）

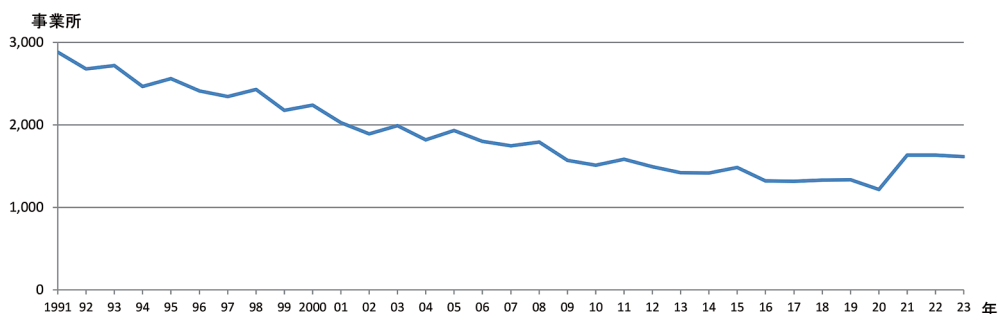


また、2020年の4人以上の事業所数は1,218事業所でしたが、2023年の全事業所数は1,615事業所でした。この中で、従業者規模1人から9人の事業所数が863事業所となり、全事業所数の約53%を占めます。（グラフ－2）

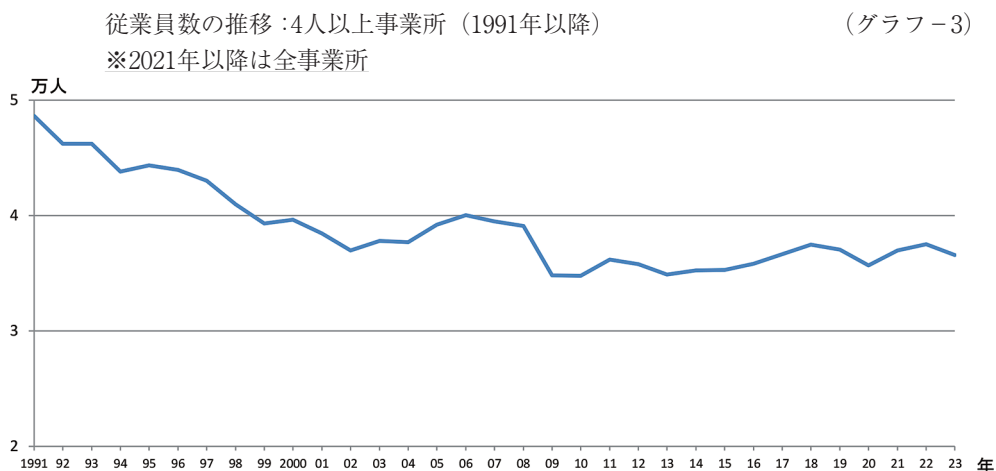
事業所数の推移：4人以上事業所（1991年以降）

（グラフ－2）

※2021年以降は全事業所数



従業員数は、全事業所を対象とした2023年は36,553人となりました。従業者4人以上とした2020年は35,667人でした。（グラフ－3）



付加価値額については、2023年は全事業所で4,470億3,100万円となり、2022年との比較では、前年比2.1%増でした。〈表－1, 2〉

（この付加価値額は生産額から消費税を除く内国消費税額と推計消費税額および原材料使用額等と減価償却を差し引いたもの）

〈表1〉ねじ産業5年間の推移（従業員4名以上、工業統計産業編より）（出荷額・付加価値額＝百万円）
※2021年以降は全事業所が対象

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
事業所数	1,336 100.0%	1,218 91.2%	1,633 122.2%	1,634 122.3%	1,615 120.9%
従業員数	37,020 100.0%	35,667 96.3%	36,960 99.8%	37,507 101.3%	36,553 98.7%
出荷額	1,092,791 100.0%	1,013,868 92.8%	1,139,090 104.2%	1,211,371 110.9%	1,278,982 117.0%
付加価値額	420,319 100.0%	363,751 86.5%	425,939 101.3%	437,872 104.2%	447,031 106.4%

〈表2〉ねじ産業の推移（出荷額ピークの1991年以降、4人以上事業所）

※2021年以降は全事業所

年	事業所数	%	従業員数	%	出荷額（百万円）	%
1991	2,882	100.0%	48,653	100.0%	1,179,713	100.0%
1992	2,676	92.9%	46,236	95.0%	1,100,448	93.3%
1993	2,720	94.4%	46,212	95.0%	1,033,690	87.6%
1994	2,465	85.5%	43,819	90.1%	957,742	81.2%
1995	2,561	88.9%	44,361	91.2%	968,054	82.1%
1996	2,410	83.6%	43,962	90.4%	975,860	82.7%
1997	2,343	81.3%	43,019	88.4%	976,019	82.7%
1998	2,429	84.3%	40,971	84.2%	861,145	73.0%
1999	2,176	75.5%	39,298	80.8%	798,717	67.7%
2000	2,239	77.7%	39,634	81.5%	826,796	70.1%
2001	2,028	70.4%	38,451	79.0%	800,947	67.9%
2002	1,892	65.6%	36,971	76.0%	751,656	63.7%
2003	1,989	69.0%	37,774	77.6%	789,992	67.0%
2004	1,816	63.0%	37,684	77.5%	828,591	70.2%
2005	1,933	67.1%	39,209	80.6%	887,035	75.2%
2006	1,802	62.5%	40,038	82.3%	959,406	81.3%
2007	1,744	60.5%	39,499	81.2%	1,003,624	85.1%
2008	1,790	62.1%	39,083	80.3%	1,030,445	87.3%
2009	1,571	54.5%	34,785	71.5%	762,728	64.7%
2010	1,509	52.4%	34,745	71.4%	828,191	70.2%
2011	1,585	55.0%	36,179	74.4%	847,410	71.8%
2012	1,494	51.8%	35,777	73.5%	900,926	76.4%
2013	1,419	49.2%	34,865	71.7%	865,965	73.4%
2014	1,417	49.2%	35,224	72.4%	930,040	78.8%
2015	1,484	51.5%	35,278	72.5%	930,329	78.9%
2016	1,319	45.8%	35,816	73.6%	951,844	80.7%
2017	1,315	45.6%	36,636	75.3%	1,046,719	88.7%
2018	1,330	46.1%	37,465	77.0%	1,111,353	94.2%
2019	1,336	46.4%	37,020	76.1%	1,092,791	92.6%
2020	1,218	42.3%	35,667	73.3%	1,013,868	85.9%
2021	1,633	56.7%	36,960	76.0%	1,139,090	96.6%
2022	1,634	56.7%	37,507	77.1%	1,211,371	102.7%
2023	1,615	56.0%	36,553	75.1%	1,278,882	108.4%

続いて、全事業所における2023年の品種別の出荷状況〈表3〉をみると、5分類の品種（ボルト・ナット、小ねじ・木ねじ、リベット、座金、ねじ関連製品）の内、数量が増加したのは、ボルト・ナット、リベットの2品種となり、出荷金額については、ねじ関連製品を除く4品種が増加となりました。

ボルト・ナットは数量で264万4,899トン（前年比5.6%増）、金額は8,785億2,200万円（前年比9.9%増）、小ねじ・木ねじは数量で12万5,502トン（前年比1.7%減）、金額は886億5,300万円（前年比0.6%増）、リベットは数量で9万8,168トン（前年比3.3%増）、金額は423億4,100万円（前年比6.6%増）、座金の金額は、356億4,700万円（前年比6.6%増）、

ねじ関連製品の金額は1,362億4,300万円（前年比7.7%減）という状況になっています。

なお、〈表3〉の出荷額が〈表1〉の出荷額と一致していないのは〈表1〉の出荷額には、製造品出荷額に加工賃収入額、製造工程から出たくずなどの出荷額、その他の収入額と消費税および内国消費税が含まれています。

〈表3〉品種別出荷状況（従業員4名以上、工業統計表品目編による）（出荷量＝トン、出荷額＝百万円）

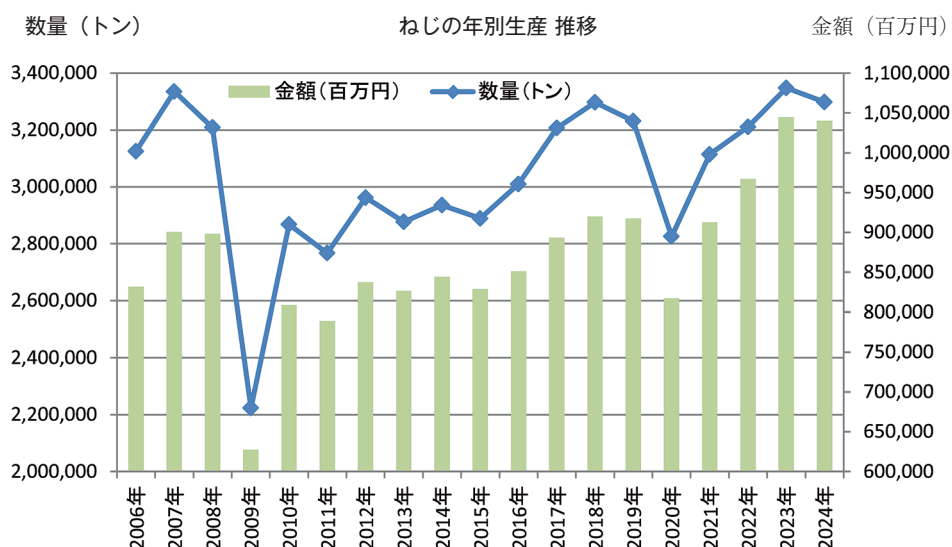
※2021年以降は全事業所

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
ボルト・ナット	量 2,181,947	2,138,988	2,515,054	2,505,578	2,644,899
	% 100.0%	98.0%	115.3%	114.8%	121.2%
小ねじ・木ねじ	額 709,381	676,735	748,506	799,125	878,522
	% 100.0%	95.4%	105.5%	112.7%	123.8%
リベット	量 136,405	112,657	127,543	127,637	125,502
	% 100.0%	82.6%	93.5%	93.6%	92.0%
座金	額 88,303	73,009	82,266	88,134	88,653
	% 100.0%	82.7%	93.2%	99.8%	100.4%
関連製品	量 85,893	82,759	90,209	95,054	98,168
	% 100.0%	96.4%	105.0%	110.7%	114.3%
合計	額 37,817	32,666	38,369	39,705	42,341
	% 100.0%	86.4%	101.5%	105.0%	112.0%
	量 -	-	-	-	-
	% -	-	-	-	-
	額 26,287	24,955	28,696	33,433	35,647
	% 100.0%	94.9%	109.2%	127.2%	135.6%
	量 -	-	-	-	-
	% -	-	-	-	-
	額 123,850	116,895	140,448	147,671	136,243
	% 100.0%	94.4%	113.4%	119.2%	110.0%
	量 2,404,245	2,334,404	2,732,806	2,728,269	2,868,569
	% 100.0%	97.1%	113.7%	113.5%	119.3%
	額 985,638	924,260	1,038,285	1,108,068	1,181,406
	% 100.0%	93.8%	105.3%	112.4%	119.9%

ねじメーカーの団体である日本ねじ工業協会の資料〈表4〉でみると、2024年のねじ生産（対象品目＝ボルト・ナット、小ねじ、タッピンねじ、木ねじ、ねじ付部品の他締結部品の7品目）は生産数量で329万8,716トンとなり、前年比1.5%減生産額では、1兆400億8,400万円となり前年比0.4%減という状況です。

〈表4〉ねじの年別生産推移 単位：生産量トン、生産額百万円（（社）日本ねじ工業協会資料より）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
数量（トン）	3,231,661	2,825,464	3,114,740	3,211,281	3,348,284	3,298,716
	% 100.0%	87.4%	96.4%	99.4%	103.6%	102.1%
金額（百万円）	917,578	817,434	912,743	966,887	1,044,501	1,040,084
	% 100.0%	89.1%	99.5%	105.4%	113.8%	113.4%



2006年以降のねじの生産推移をみると、数量ではリーマンショック後の2009年とコロナ禍の影響を受けた2020年に大きく落ち込みましたが、その後は回復基調で推移し、2023年には2006年以降で最大の生産量を記録しました。2024年は前年をやや下回ったものの、高い生産水準を維持しています。金額では、2009年以降は数量と同様に増減を繰り返しながら回復し、2022年に1兆円を突破しました。2023年には2006年以降で最高の生産金額を記録し、2024年は前年をわずかに下回ったものの、引き続き1兆円を超える高水準で推移しています。

2. ねじの輸出

日本のねじ輸出について2025年の状況をみると、輸出金額は、前年比1.3%減で45億6,800万円少ない3,488億5,250万円、輸出重量は、前年比2.8%減で7,952トン少ない28万7,123トンとなりました。〈表5〉

同年における品目別の輸出状況では、主要品目の内、鉄鋼製木ねじ、鉄鋼製その他のねじ、鉄鋼製ねじ無製品及び鉄鋼製平座金は、金額、重量共に増加しました。

鉄鋼製タッピンねじ及び銅製品は、重量は減少しましたが、金額は増加しました。鉄鋼製コーチねじ及び鉄鋼製コッタピンは、重量は増加しましたが、金額は減少しました。鉄鋼製ボルト、ステンレスボルト、鉄鋼製ナット、ステンレスナット、鉄鋼製その他ねじ付品、鉄鋼製リベット及び鉄鋼製ばね座金は、金額、重量共に減少しました。

〈表5〉ねじの輸出（品目別） 単位：重量トン, 金額百万円（貿易統計より）

		2023年	2024年	2025年	増減%
鉄鋼製ボルト	重量	162,435.1	160,866.6	155,723.9	-3.3%
	金額	140,263.8	148,508.2	144,054.5	-3.1%
ステンレスボルト	重量	1,822.2	1,689.2	1,558.7	-8.4%
	金額	7,272.4	7,077.9	6,899.8	-2.6%
鉄鋼製ナット	重量	71,238.4	69,553.1	67,693.5	-2.7%
	金額	77,053.6	79,009.6	77,375.4	-2.1%
ステンレスナット	重量	1,443.7	1,399.8	1,160.0	-20.7%
	金額	5,225.4	5,648.1	4,744.9	-19.0%
鉄鋼製タッピンねじ	重量	9,605.5	9,770.6	9,477.8	-3.1%
	金額	11,625.0	11,591.9	12,227.8	5.2%
鉄鋼製木ねじ	重量	64.1	23.7	25.2	6.3%
	金額	122.4	54.6	60.7	10.1%
鉄鋼製その他のねじ	重量	18,413.5	18,947.2	19,478.5	2.7%
	金額	32,853.5	35,374.4	38,241.0	7.5%
鉄鋼製その他ねじ付品	重量	1,397.9	2,344.5	1,762.0	-33.1%
	金額	2,523.7	3,646.0	2,974.5	-22.6%
鉄鋼製リベット	重量	2,990.5	2,847.2	2,591.4	-9.9%
	金額	4,985.3	5,064.8	4,804.7	-5.4%
鉄鋼製ねじ無製品	重量	10,410.3	9,275.6	9,433.8	1.7%
	金額	16,928.4	17,816.8	17,855.5	0.2%
鉄鋼製コーチねじ	重量	17.3	5.9	7.0	14.8%
	金額	24.2	20.2	16.4	-22.8%
鉄鋼製スクリューフック	重量	0.6	1.8	1.6	-13.5%
	金額	6.4	19.5	10.7	-82.8%
鉄鋼製ばね座金	重量	1,601.1	1,601.4	1,473.8	-8.7%
	金額	3,944.9	4,091.2	4,014.5	-1.9%
鉄鋼製平座金	重量	15,437.7	14,591.7	14,677.5	0.6%
	金額	27,628.4	26,931.1	27,299.4	1.3%
鉄鋼製コッタピン	重量	1,021.3	1,062.1	1,096.6	3.1%
	金額	3,835.9	4,055.7	3,737.4	-8.5%
銅製品	重量	992.4	1,095.1	961.9	-13.8%
	金額	3,517.2	4,510.7	4,535.3	0.5%
総 計	重量	298,891.6	295,075.5	287,123.2	-2.8%
	金額	337,810.5	353,420.5	348,852.5	-1.3%

詳細をみていくと、鉄鋼製ボルトは重量が3.3%減の15万5,723トン、金額が3.1%減の1,440億5,400万円、ステンレスボルトは重量8.4%減の1,558トンで金額2.6%減の68億9,900万円、鉄鋼製ナットは重量2.7%減の6万7,693トンで金額2.1%減の773億7,500万円、ステンレスナットは重量20.7%減の1,160トンで金額19.0%減の47億4,400万円、鉄鋼製タッピンねじは重量3.1%減の9,477トンで金額5.2%増の122億2,700万円などとなっています。

〈表6-1〉ねじの輸出量（主要国別、銅製品を除く）

単位：トン（貿易統計より）

	2023年	2024年	2025年	25/24増減比 %	国別比率 %
総 計	297,899.2	293,980.4	286,161.3	-2.7%	100.0%
米 国	75,282.4	86,392.2	86,848.4	0.5%	30.3%
E U	20,140.2	10,577.6	9,804.4	-7.9%	3.4%
英 国	5,577.3	4,720.1	4,714.8	-0.1%	1.6%
韓 国	953.5	1,079.2	1,090.5	1.0%	0.4%
中 国	58,481.1	49,592.0	46,164.3	-7.4%	16.1%
台 湾	4,678.7	4,019.1	3,815.6	-5.3%	1.3%
香 港	1,133.1	938.7	793.6	-18.3%	0.3%
タ イ	40,720.8	32,731.0	33,212.4	1.4%	11.6%
シンガポール	1,021.6	741.0	607.1	-22.1%	0.2%
マレーシア	7,172.3	7,147.7	7,036.5	-1.6%	2.5%
インドネシア	22,352.0	20,056.0	18,216.9	-10.1%	6.4%
フィリピン	3,054.5	2,854.6	2,911.2	1.9%	1.0%
カナダ	2,524.3	2,422.9	2,502.5	3.2%	0.9%
メキシコ	15,427.8	18,647.9	16,395.8	-13.7%	5.7%
ブラジル	9,082.6	10,357.2	10,149.5	-2.0%	3.5%
インド	15,615.6	17,587.1	17,900.6	1.8%	6.3%
オーストラリア	388.8	402.0	310.4	-29.5%	0.1%
他	14,292.5	23,714.0	23,686.8	-0.1%	8.3%

主要国別の輸出量（銅製品除く鉄鋼製品）でみた2025年実績で5,000トン以上の輸出先となった国・地域は多い順に、米国、中国、タイ、インドネシア、メキシコ、インド、ブラジル、EU、マレーシアの9か国・地域です。2024年と比べるとEU、英国、中国、台湾、香港、シンガポール、マレーシア、インドネシア、メキシコ、ブラジル、オーストラリアで減少し、米国、韓国、タイ、フィリピン、カナダ、インドでは増加しました。前年比20%以上減少したところは多い順に、オーストラリア、シンガポールの2か国、10%以上減少したところは、香港、メキシコ、インドネシアでした。〈表6-1, 6-2〉

〈表6-2〉ねじの輸出金額（主要国別、銅製品を除く）

単位：金額百万円（貿易統計より）

	2023年	2024年	2025年	25/24増減比 %	国別比率
総 計	334,293.3	348,909.8	344,317.2	-1.3%	100.0%
米 国	84,888.2	99,797.2	94,291.1	-5.8%	27.4%
E U	21,536.6	12,840.4	12,435.2	-3.3%	3.6%
英 国	5,370.1	4,875.9	5,104.1	4.5%	1.5%
韓 国	2,438.7	2,539.4	2,949.6	13.9%	0.9%
中 国	62,515.4	57,803.2	56,289.7	-2.7%	16.3%
台 湾	4,787.9	4,658.3	4,877.9	4.5%	1.4%
香 港	2,822.5	2,668.5	2,258.3	-18.2%	0.7%
タ イ	40,179.0	35,598.9	37,672.4	5.5%	10.9%
シンガポール	2,435.3	2,619.2	2,656.4	1.4%	0.8%
マレーシア	6,626.7	6,526.7	6,542.1	0.2%	1.9%
インドネシア	23,145.3	22,257.0	19,488.1	-14.2%	5.7%
フィリピン	5,013.5	4,974.8	5,579.7	10.8%	1.6%
カ ナ ダ	5,560.7	5,106.0	3,971.9	-28.6%	1.2%
メ キ シ コ	18,091.1	20,966.8	18,592.2	-12.8%	5.4%
ブ ラ ジ ル	9,087.9	10,568.8	11,019.7	4.1%	3.2%
イ ン ド	15,875.2	17,821.9	20,365.8	12.5%	5.9%
オーストラリア	1,133.8	1,173.5	1,075.0	-9.2%	0.3%
他	22,785.3	36,113.4	39,148.1	7.8%	11.4%

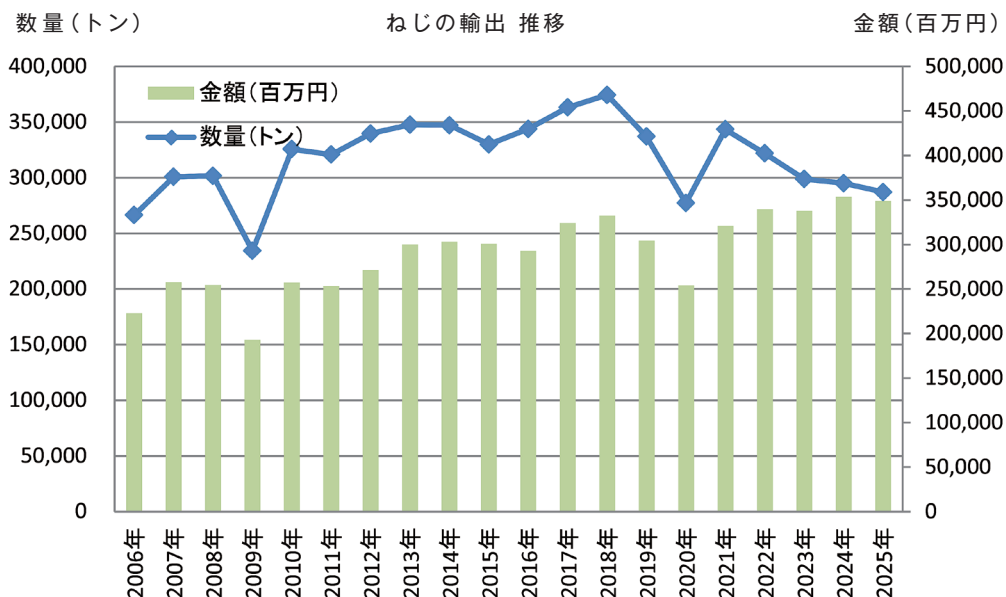
主要国別のねじ輸出状況をみると、中国向けは数量で前年比7.4%減の4万6,164トン、金額は2.7%減の562億8,900万円、米国向けは数量で前年比0.5%増の8万6,848トン、金額で5.8%減の942億9,100万円、タイ向けは数量で前年比1.4%増の3万3,212トン、金額で5.5%増の376億7,200万円、インドネシア向けは数量で前年比10.1%減の1万8,216トン、金額で14.2%減の194億8,800万円、EU向けは数量で前年比7.9%減の9,804トン、金額で3.3%減の124億3,500万円、インド向けは数量で前年比1.8%増の1万7,900トン、金額で12.5%増の203億6,500万円、メキシコ向けは前年比13.7%減の1万6,395トン、金額で12.8%減の185億9,200万円、ブラジル向けは数量で前年比2.0%減の1万149トン、金額で4.1%増の110億1,900万円、マレーシア向けは数量で前年比1.6%減の7,036トン、金額で0.2%増の65億4,200万円、英国向けは数量で前年比0.1%減の4,714トン、金額で4.5%増の51億400万円などとなっています。

〈表7〉ねじ輸出5年間の推移

(貿易統計より)

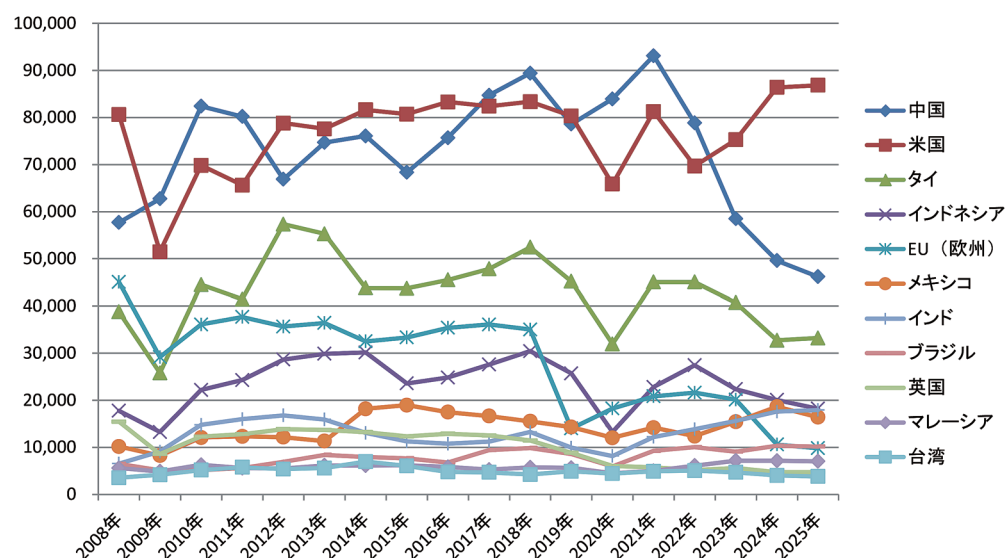
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
数量 (トン)	343,411	321,866	298,892	295,075	287,123
%	100.0%	93.7%	87.0%	85.9%	83.6%
金額 (百万円)	254,043	320,876	339,746	353,420	348,853
%	100.0%	126.3%	133.7%	139.1%	137.3%

ねじの輸出は、リーマンショック後の2009年に大きく減少しましたが、翌2010年にはV字回復を遂げました。その後は概ね右肩上がり推移し、2018年には数量・金額ともにピークを記録しました。以降は減少傾向が続き、2020年には新型コロナの影響で大きく落ち込みましたが、2021年以降は数量の減少が続く一方、円安や製品価格の上昇を背景に輸出金額は高水準を維持しました。しかし、2025年は輸出量が28万7,123トン、輸出金額が3,489億円となり、ともに前年を下回る結果となりました。(表7)



単位トン

主要国別 ねじの輸出量推移



貿易統計の資料をもとに、主要国・地域別のねじ輸出量の推移をみると、2017年に米国、メキシコ、英国、マレーシア、台湾、オーストラリア向けの輸出が減少に転じ、2018年にはEU、フィリピン、韓国、シンガポールでも減少が見られました。さらに2019年には中国、タイ、インドネシア、インド、ブラジルへの輸出も減少しました。中国とEUは2019年を底に早期回復を示し、その他の国・地域は2020年を底に持ち直しましたが、2022年以降は世界的な需要減速の影響を受け、国・地域ごとに明暗が分かれています。2025年は米国やタイ、インド向けが増加した一方、中国、インドネシア、メキシコ、EU、ブラジル向けは減少し、全体では輸出量・輸出金額とも前年を下回る結果となりました。

3. ねじの輸入

2025年のねじ輸入は、金額で前年比4.4%増と2年連続で増加し1,439億3,200万円となりました。重量では前年比0.7%増の23万333トンとなっています。〈表8〉

〈表8〉ねじの輸入（品目別）

単位：重量トン、金額百万円（貿易統計より）

		2023年	2024年	2025年	増減%
鉄鋼製ボルト	重量	91,618.9	90,151.9	87,817.6	-2.7%
	金額	29,319.0	31,404.6	31,287.6	-0.4%
ステンレスボルト	重量	9,937.1	11,040.2	10,790.3	-2.3%
	金額	7,365.3	7,929.9	7,836.6	-1.2%
鉄鋼製ナット	重量	27,521.0	27,656.1	28,046.2	1.4%
	金額	19,712.1	22,349.3	23,711.4	5.7%
ステンレスナット	重量	5,318.2	5,751.0	6,010.4	4.3%
	金額	8,583.1	9,107.3	9,675.0	5.9%
鉄鋼製タッピンねじ	重量	12,882.7	12,360.8	13,677.9	9.6%
	金額	6,320.2	6,241.0	6,705.7	6.9%
鉄鋼製木ねじ	重量	15,116.1	15,575.4	13,817.6	-12.7%
	金額	6,756.1	6,923.3	5,909.3	-17.2%
鉄鋼製その他のねじ	重量	20,046.7	22,238.5	25,085.5	11.3%
	金額	15,719.1	16,868.8	19,292.5	12.6%
鉄鋼製その他ねじ付品	重量	14,787.0	17,209.3	17,203.5	0.0%
	金額	7,562.2	8,702.1	9,638.3	9.7%
鉄鋼製リベット	重量	1,352.6	1,497.6	1,662.8	9.9%
	金額	1,461.9	1,766.6	2,737.4	35.5%
鉄鋼製ねじ無製品	重量	5,893.2	5,780.0	5,846.7	1.1%
	金額	7,091.1	8,525.6	9,003.5	5.3%
鉄鋼製コーチねじ	重量	835.9	778.3	649.9	-19.8%
	金額	208.9	221.4	175.7	-26.0%
鉄鋼製スクリューフック	重量	482.9	250.0	220.3	-13.5%
	金額	275.0	203.4	147.7	-37.7%
鉄鋼製ばね座金	重量	4,673.3	4,617.8	4,652.1	0.7%
	金額	2,540.8	2,645.5	2,633.3	-0.5%
鉄鋼製平座金	重量	8,465.6	9,234.2	9,876.3	6.5%
	金額	6,878.3	7,753.4	7,701.7	-0.7%
鉄鋼製コッタピン	重量	2,880.4	2,887.3	3,132.2	7.8%
	金額	1,664.2	1,616.8	1,938.5	16.6%
銅製品	重量	1,653.2	1,776.4	1,843.9	3.7%
	金額	4,504.9	5,296.1	5,537.8	4.4%
総 計	重量	223,464.7	228,804.7	230,332.9	0.7%
	金額	125,962.2	137,555.1	143,932.0	4.4%

品目別のねじ輸入状況では、主要製品の鉄鋼製ボルトが重量で前年比2.7%減の8万7,817トン、金額で0.4%減の312億8,700万円、ステンレスボルトが重量で前年比2.3%減の1万790トンで金額1.2%減の78億3,600万円、鉄鋼製ナットが前年比1.4%増の2万8,046トンで金額5.7%増の237億1,100万円、ステンレスナットが前年比4.3%増の6,010トンで金額5.9%増の96億7,500万円、鉄鋼製タッピンねじが前年比9.6%増の1万3,677トンで金額6.9%増の67億500万円、鉄鋼製木ねじが前年比12.7%減の1万3,817ト

ンで金額17.2%減の59億900万円, 鉄製その他のねじが前年比11.3%増の2万5,085トンで金額12.6%増の192億9,200万円, 鉄鋼製その他のねじ付品が前年比横ばいの1万7,203トンで金額9.7%増の96億3,800万円, 鉄鋼製リベットが前年比9.9%増の1,662トンで金額35.5%増の27億3,700万円, 鉄鋼製のねじ無製品が前年比1.1%増の5,846トンで金額5.3%増の90億300万円などとなっています。〈表8〉

2025年のねじ輸入量を国別に見ますと, 中国, 台湾, ベトナム, 韓国, タイ, EU, マレーシア, 米国などの順で輸入されています。〈表9-1, 9-2〉

〈表9-1〉ねじの輸入量（主要国別, 銅製品を除く）

単位：トン（貿易統計より）

	2023年	2024年	2025年	25/24増減比 %	国別比率 %
総 計	221,811.5	227,028.3	228,489.1	0.6%	100.0%
米 国	1,026.8	1,061.3	796.3	-33.3%	0.3%
E U	2,799.9	3,199.4	2,738.1	-16.8%	1.2%
英 国	165.2	125.1	134.0	6.6%	0.1%
韓 国	9,671.0	7,848.0	8,023.0	2.2%	3.5%
中 国	134,616.4	139,890.4	140,854.2	0.7%	61.6%
台 湾	51,079.6	51,884.8	52,742.1	1.6%	23.1%
タ イ	3,064.7	2,949.6	3,494.4	15.6%	1.5%
シンガポール	21.7	25.4	24.2	-5.1%	0.0%
マレーシア	1,592.5	1,458.9	1,466.3	0.5%	0.6%
インドネシア	415.5	463.5	510.6	9.2%	0.2%
ベトナム	14,292.0	15,191.3	14,165.0	-7.2%	6.2%
他	3,066.1	2,930.6	3,540.9	17.2%	1.5%

中国からの輸入量は前年比0.7%増の14万854トンで金額0.8%増の433億3,400万円, 台湾からは前年比1.6%増の5万2,742トンで金額3.5%増の307億200万円, ベトナムからは前年比7.2%減の1万4,165トンで金額1.0%減の51億5,700万円, 韓国からは前年比2.2%増の8,023トンで金額0.3%減の47億7,500万円, タイからは前年比15.6%増の3,494トンで金額19.0%増の39億8,400万円, EUからは前年比16.8%減の2,738トンで金額2.6%増の95億9,500万円, マレーシアからは前年比0.5%増の1,466トンで金額4.4%減の9億3,600万円, 米国からは前年比33.3%減の796トンで金額9.1%増の283億6,000万円でした。

〈表9-2〉ねじの輸入金額（主要国別、銅製品を除く）

単位：金額百万円（貿易統計より）

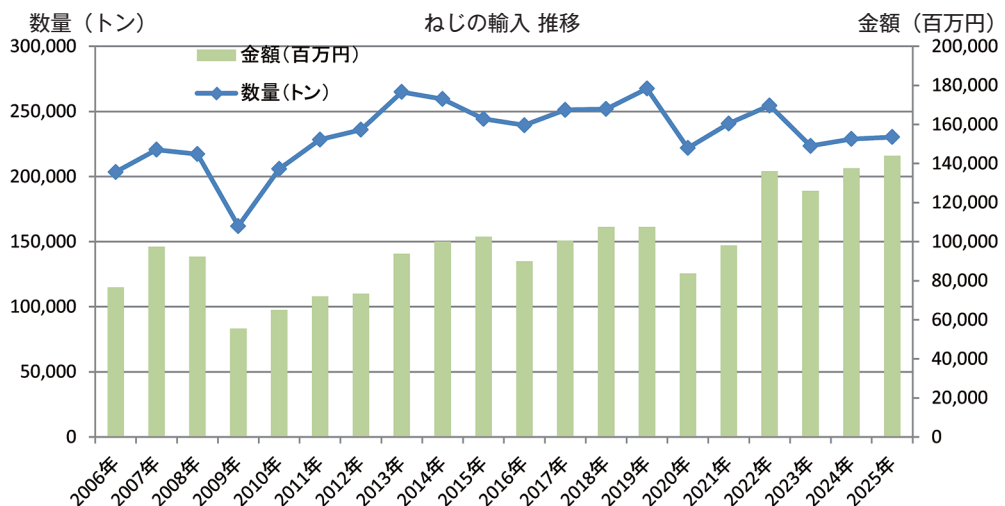
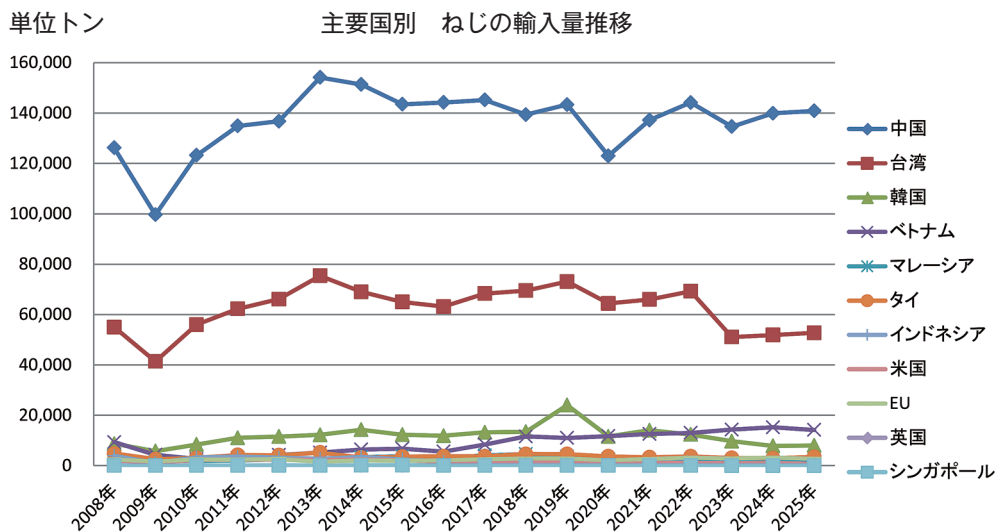
	2023年	2024年	2025年	25/24増減比 %	国別比率
総 計	121,457.2	132,259.0	138,394.2	4.4%	100.0%
米 国	18,306.6	25,781.9	28,360.0	9.1%	20.5%
E U	8,187.6	9,343.6	9,595.8	2.6%	6.9%
英 国	1,685.2	1,762.3	1,862.0	5.4%	1.3%
韓 国	5,605.8	4,789.6	4,775.6	-0.3%	3.5%
中 国	41,140.3	42,974.2	43,334.4	0.8%	31.3%
台 湾	29,446.9	29,627.8	30,702.5	3.5%	22.2%
タ イ	3,166.5	3,227.2	3,984.6	19.0%	2.9%
シンガポール	100.2	116.1	126.1	8.0%	0.1%
マレーシア	1,083.0	977.2	936.0	-4.4%	0.7%
インドネシア	538.9	642.8	705.0	8.8%	0.5%
ベトナム	5,001.4	5,211.0	5,157.4	-1.0%	3.7%
他	7,194.8	7,805.5	8,854.8	11.9%	6.4%

ねじの輸入量について、貿易統計の資料をもとに推移をみると、中国製の占有率は2009年に全体の62.1%を記録した後、2017年までは59%前後で推移していましたが、2018年以降はいったん低下したものの、2023年に60%台へ回復し、2025年には61.6%となりました。台湾製は2020年に29%でピークを迎えた後は低下傾向にあり、2025年は23.1%となっています。韓国製は2019年の約9%をピークに低下しましたが、2025年は3.5%と前年をやや上回りました。ベトナム製は2018年以降1万トンを超える水準で推移し、2025年は1万4,165トン、占有率6.2%となり、中国、台湾に次ぐ主要な輸入先となっています。

〈表10〉ねじ輸入5年間の推移

（貿易統計より）

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
数量（トン）	240,743	254,564	223,465	228,805	230,333
%	100.0%	105.7%	92.8%	95.0%	95.7%
金額（百万）	98,064	136,031	125,962	137,555	143,932
%	100.0%	138.7%	128.4%	140.3%	146.8%



グラフからわかるように、リーマンショックの影響で2009年は数量・金額ともに大幅に落ち込みましたが、翌年にはV字回復を見せ、2013年まで増加を続けました。その後、数量は2016年まで緩やかに減少し、その後は回復して2019年に最大を記録しましたが、2020年は新型コロナ禍による経済活動の停滞により大きく落ち込みました。金額は2013年以降も増加基調で推移し、2016年を除き2019年まで増加しました。2020年は減少したものの急速に回復し、2022年には過去最高を記録しました。その後は2023年に減少へ転じましたが、2024年、2025年は再び増加し、2025年には過去最高を更新しました。一方、数量は2023年以降も緩やかな回復にとどまっています。

ねじ需要産業の動向（参考）

2022年以降、コロナ禍からの経済正常化に伴い、自動車産業や家電・電子機器産業、工作機械産業など、ねじ需要を支える主要産業は回復基調を示してきました。しかし、2025年は中国経済の低迷や欧州景気の停滞に加え、米国の追加関税政策など保護主義の強まりによる世界経済の先行き不透明感が高まっています。こうした影響を受け、産業ごとに生産動向のばらつきが見られる状況となっています。ここでは、経済産業省の生産動態調査をもとに、工業製品の生産実数値についていくつか参考として確認したいと思います。

まず、自動車の2025年の生産は841万334台で前年比2.1%増、17万5,689台増加しました。内訳をみますと、乗用車が0.9%減で5万4,522台の減少、軽乗用車が9.8%増で12万2,461台の増加、トラックは10.4%増で6万7,822台の増加、軽トラックが6.2%増で2万1,383台の増加、バスは18.4%増で1万8,545台の増加となっています。2025年は、乗用車は前年実績を僅かに下回り、軽乗用車、トラック、軽トラック、バスは前年実績を上回りました。

◇自動車

(台)

	乗用車	軽乗用車	トラック	軽トラック	バス	計
2022年	5,265,228	1,301,090	751,370	433,183	84,611	7,835,482
2023年	6,357,436	1,409,622	725,668	401,802	105,360	8,999,888
2024年	5,884,226	1,254,962	649,262	345,355	100,840	8,234,645
2025年1月	487,176	108,108	52,650	22,868	10,942	681,744
2月	514,051	123,399	59,984	27,004	8,360	732,798
3月	510,377	107,997	62,020	34,356	9,586	724,336
4月	472,124	101,313	55,822	30,265	9,261	668,785
5月	441,228	101,635	56,303	29,609	9,143	637,918
6月	499,065	118,341	62,531	35,262	10,873	726,072
7月	516,523	115,236	68,054	32,117	11,591	743,521
8月	367,434	96,557	46,055	24,893	8,273	543,212
9月	523,831	125,493	65,845	34,012	11,591	760,772
10月	559,327	139,754	69,190	35,198	10,738	814,207
11月	467,161	120,187	58,415	30,539	9,511	685,813
12月	471,407	119,403	60,215	30,615	9,516	691,156
1～12月計	5,829,704	1,377,423	717,084	366,738	119,385	8,410,334

設備投資の指標となる金属工作機械の2025年の生産状況は、前年比5.9%増の5万3,445台となりましたが、2022年以前の水準には届いていません。

◇工作機械,他

(台)

	金属工作機械	はん用内燃機関	ショベルトラック	フォークリフトトラック
2022年	70,004	3,629,888	11,795	126,574
2023年	58,832	2,985,362	13,322	105,102
2024年	50,449	1,880,513	13,002	98,623
2025年1月	4,755	140,678	810	8,877
2月	5,091	151,588	765	8,648
3月	5,595	150,212	786	8,940
4月	4,492	139,427	711	8,667
5月	3,867	136,723	691	8,373
6月	4,013	153,260	904	9,101
7月	4,117	160,038	972	9,687
8月	3,931	119,970	820	6,916
9月	4,569	168,413	1,119	9,202
10月	4,278	180,056	1,284	9,455
11月	4,216	161,467	914	8,207
12月	4,521	171,854	762	8,429
1～12月計	53,445	1,833,686	10,538	104,502

セパレート型エアコンの2025年生産は、前年比3.5%増の458万9,801台となりました。
電気冷蔵庫の2025年生産は、前年比11.0%減の83万6,642台となっています。

◇家電,複写機

(台)

	クッキングヒーター	セパレート型エアコン	電気冷蔵庫	デジタル・フルカラー 複写機
2022年	792,143	4,412,430	1,282,329	117,736
2023年	659,884	4,362,505	1,055,448	104,273
2024年	661,361	4,435,722	939,531	113,618
2025年1月	57,890	334,293	79,507	9,477
2月	56,349	351,630	61,790	9,677
3月	58,010	396,164	55,180	10,722
4月	55,897	498,248	67,160	10,659
5月	51,250	465,582	69,015	9,482
6月	57,834	499,114	86,342	8,510
7月	56,742	513,451	85,599	8,779
8月	36,031	261,773	48,546	9,322
9月	46,933	290,725	56,738	9,901
10月	63,223	341,406	78,934	10,273
11月	57,239	307,652	69,024	9,455
12月	59,496	329,763	78,807	9,837
1～12月計	656,894	4,589,801	836,642	116,094

ネットワーク接続機器の2025年生産は、前年比2.2%増の35万4,939台でした。数値制御ロボットの2025年生産は、前年比15.4%増の4万604台でした。

◇通信機器, 産業ロボット

(台)

	ネットワーク接続機器	固定通信装置	数値制御ロボット	プレイバックロボット
2022年	835,365	163,653	38,773	192,149
2023年	801,679	123,958	34,676	155,301
2024年	347,343	132,507	35,172	115,364
2025年1月	19242	16,187	3,048	10,509
2月	10747	13,713	3,318	10,316
3月	48472	9,615	3,279	11,397
4月	23009	6,445	3,731	10,796
5月	21156	8,813	3,483	10,574
6月	35965	8,645	3,673	12,066
7月	26745	5,458	3,618	12,556
8月	41540	4,041	3,060	10,031
9月	25529	8,239	3,155	12,247
10月	48883	12,607	3,633	13,654
11月	23643	8,137	3,239	11,916
12月	30008	9,525	3,367	13,248
1～12月計	354,939	111,425	40,604	139,310

パソコンの2025年生産は、Windows10のサポート終了に伴う更新需要などを背景に前年比21.9%増の649万1,347台となりました。

半導体製造装置の2025年生産は、前年比3.2%増の4万8,822台となりました。

◇パソコン, 半導体製造装置ほか

(台)

	パソコン	システムキッチン	ボタン電話装置	半導体製造装置
2022年	4,742,001	846,517	109,283	49,192
2023年	4,999,895	812,290	123,376	40,420
2024年	5,324,645	786,036	77,122	47,313
2025年1月	382,500	63,269	8,661	3,337
2月	445,597	65,143	9,438	3,708
3月	618,810	63,414	9,345	5,093
4月	576,366	62,650	5,326	3,899
5月	408,300	62,819	2,664	3,387
6月	568,088	66,881	7,270	4,855
7月	724,132	73,082	9,935	3,783
8月	456,904	55,421	7,438	3,668
9月	593,972	65,113	7,775	4,018
10月	803,715	75,456	8,021	3,463
11月	335,818	69,695	5,872	4,027
12月	577,145	71,388	5,344	5,584
1～12月計	6,491,347	794,331	87,089	48,822

イワタボルトはあなたの会社に 最適締結システムを提供します

本社 〒141-8508 東京都品川区西五反田2-32-4
TEL 03(3493) 0211(大代) FAX 03(3493) 2096
S O F I 課 TEL 03(3493) 0251(代)
資材課 TEL 03(3493) 0252(代)
技術開発課 TEL 03(3493) 0214(代)
品質管理課 TEL 03(3493) 0253(代)
海外課 TEL 03(3493) 0254(代)

栃木工場 〒329-2331 栃木県塩谷郡塩谷町大字田所字ハ汐1601-6
TEL 0287(45) 1051(代) FAX 0287(45) 1053

オハイオ工場 102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A.
TEL 1-513-942-7070 FAX 1-513-942-5566

シンガポール工場 No.10 BENOI CRESCENT JURONG TOWN
SINGAPORE 629973
TEL 65-6266-3794-3795 FAX 65-6266-2115

中国深圳工場 No.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-755-2714-0442 FAX 86-755-2714-0443

タイ工場 700/834 MOO6 AMATA CITY CHONBURI
INDUSTRIAL ESTATE T.NONGTAMLUENG, A.
PHANTHONG CHONBURI 20160 THAILAND
TEL 66-38-185-595 FAX 66-38-185-599

一関分室 〒021-0902 岩手県一関市荻莊字打ノ目244-1
TEL 0191(24) 4110(代) FAX 0191(24) 4180

山形営業所 〒990-0073 山形県山形市大野目4-2-60
TEL 023(631) 6321(代) FAX 023(631) 6322

仙台営業所 〒981-1224 宮城県名取市増田6-3-46
TEL 022(384) 0265(代) FAX 022(384) 0694

福島営業所 〒963-0111 福島県郡山市安積荒井一丁目115
TEL 024(945) 9610(代) FAX 024(945) 9605

宇都宮営業所 〒329-2331 栃木県塩谷郡塩谷町大字田所字ハ汐1601-6
TEL 0287(45) 1421(代) FAX 0287(45) 1422

栃木分室 〒321-3325 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56-2
ホンダ開発ビル4階 403号室
TEL 028(677) 4721(代) FAX 028(677) 4719

上田営業所 〒386-0005 長野県上田市古里42-25
TEL 0268(26) 1295(代) FAX 0268(26) 1259

群馬営業所 〒370-3524 群馬県高崎市中央町621-6
TEL 027(372) 4361(代) FAX 027(372) 4366

太田営業所 〒373-0841 群馬県太田市岩瀬川町113-3
TEL 0276(46) 1796(代) FAX 0276(46) 1764

埼玉営業所 〒364-0013 埼玉県北本市中丸4-72番地
TEL 048(591) 2212(代) FAX 048(591) 2261

つくば営業所 〒300-1161 茨城県稲敷郡阿見町よしわら1丁目20
TEL 029(829) 5370(代) FAX 029(829) 5372

千葉営業所 〒292-0834 千葉県木更津市潮見6-10
TEL 0438(37) 3094(代) FAX 0438(37) 3194

五反田営業所 〒141-8508 東京都品川区西五反田2-32-4
TEL 03(3493) 0221(代) FAX 03(3493) 2096

多摩営業所 〒196-0032 東京都昭島市郷地町2-38-3
TEL 042(541) 5534(代) FAX 042(541) 6416

横浜営業所 〒236-0004 神奈川県横浜市中区金沢福浦2-13-38
TEL 045(781) 4311(代) FAX 045(781) 4361

湘南相模営業所 〒243-0203 神奈川県厚木市下荻野534番地
TEL 046(241) 7021(代) FAX 046(241) 7023

富士営業所 〒417-0061 静岡県富士市伝法3205-1
TEL 0545(57) 0600(代) FAX 0545(57) 0604

浜松営業所 〒430-0831 静岡県浜松市中央区御給町179-1
TEL 053(425) 1118(代) FAX 053(425) 9448

名古屋営業所 〒452-0847 愛知県名古屋市中区西区野南町50番地
TEL 052(502) 7761(代) FAX 052(502) 7763

安城営業所 〒446-0019 愛知県安城市新明町1-5
TEL (0566) 72-6722(代) FAX (0566) 72-6724

三重営業所 〒510-0971 三重県四日市市南小松町2670-15
TEL 059(329) 6731(代) FAX 059(329) 6732

大阪営業所 〒581-0822 大阪府八尾市高砂町3-3-16
TEL 072(923) 7910(代) FAX 072(923) 7911

広島営業所 〒731-5109 広島県広島市佐伯区石内北1-4-34
TEL 082(941) 4585(代) FAX 082(941) 4587

福岡営業所 〒824-0068 福岡県行橋市大字延永三反田74-3
TEL 0930(23) 9444(代) FAX 0930(23) 9451

久留米営業所 〒839-0809 福岡県久留米市東合川2-4-38
TEL 0942(45) 3451(代) FAX 0942(45) 3452

IWATA BOLT HONG KONG CO., LTD. [香港]
UNIT 4, 8/F, BLOCK A, NEW TRADE PLAZA, 6
ON PIN STREET, SHATIN, N.T. HONG KONG.
TEL 852-2649-9110 FAX 852-2646-6119

IWATA BOLT (SHANGHAI) CO., LTD. [上海]
PART E, NO.28 F6-C BLD, 500 FUTE EAST TWO
ROAD, CHINA (SHANGHAI) PILOT FREE TRADE
ZONE P.R.CHINA ZIP20013
TEL 86-21-5046-3037 FAX 86-21-5046-3038

IWATA BOLT (SHANGHAI) CO., LTD. SUZHOU BRANCH. [蘇州支店]
UNIT A2 NO.29 ZHONG HUAN BUILDING, 369
LUSHAN ROAD, SUZHOU, JIANGSU PROVINCE,
P.R. CHINA ZIP215129
TEL 86-512-6937-0030 FAX 86-512-6937-0031

IWATA BOLT (WUHAN) CO., LTD. [武漢]
UNIT 006, MERIT GARDEN, NO.173, ZHUJIAN YANG
AVE, WUHAN ECONOMIC & TECHNOLOGICAL
DEVELOPMENT ZONE, WUHAN, HUBEI,
P.R.CHINA ZIP430056
TEL 86-27-8429-7871 FAX 86-27-8429-7874

IWATA BOLT (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳工場]
NO.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-755-2714-0442 FAX 86-755-2714-0443

IWATA BOLT AUTO PARTS (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳汽車零件]
No.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-755-8149-6291 FAX 86-755-8149-6295

IWATA BOLT TRADING (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳貿易]
UNIT A2/F XINGDA LOGISTICS BUILDING NO.3,
LANHUA ROAD FUTIAN FREE TRADE ZONE
SHENZHEN CHINA ZIP 518038
TEL 86-755-6130-1077 FAX 86-755-6113-6138

IWATA BOLT (THAILAND) CO., LTD. [タイ]
700/834 MOO6 AMATA CITY CHONBURI
INDUSTRIAL ESTATE T.NONGTAMLUENG, A.
PHANTHONG CHONBURI 20160 THAILAND
TEL 66-38-185-595 FAX 66-38-185-599

IWATA BOLT (THAILAND) CO., LTD. AYUTTHAYA OFFICE [アユタヤ分室]
139 MOO 3 THAVORNKANILAPACHAIBD, 2ND FLOOR,
ASIA BANGPAI ROAD, T. KLONGSUANPLU
A. AYUTTHAYA AYUTTHAYA 13000 THAILAND
TEL 66-35-930-646 FAX 66-35-930-647

IWATA BOLT SINGAPORE PTE. LTD. [シンガポール]
NO.10 BENOI CRESCENT JURONG TOWN
SINGAPORE 629973
TEL 65-6266-3794-3795 FAX 65-6266-2115

IBK FASTENER MALAYSIA SDN. BHD. [マレーシア]
TAMAN PERINDUSTRIAN JAYA, NO.5 JALAN
PUJIA/8(TP)2, ARA DAMANSARA 47301
PETALING JAYA, SELANGOR MALAYSIA,
TEL 60-3-78438801 FAX 60-3-78438804

PT. IWATA BOLT INDONESIA [インドネシア]
JL. KENARI II BLOK G1A NO.8 DELTA SILICON 5
LIPPO CIKARANG BEKASI 17550 INDONESIA
TEL 62-21-2961-7881 FAX 62-21-2961-7883

IWATA BOLT USA INC. [U.S.A. 本社]
102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A.
TEL 1-513-942-5050 FAX 1-513-942-5566

IWATA BOLT USA INC. [オハイオ支店]
102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A.
TEL 1-513-942-5050 FAX 1-513-942-5566

IWATA BOLT USA INC. [ロサンゼルス支店]
7131 ORANGEWOOD AVE., GARDEN GROVE,
CALIFORNIA 92841-1409 U.S.A.
TEL 1-714-894-7302 FAX 1-714-897-0888

IWATA BOLT USA INC. [アトランタ支店]
3354 CATALINA DRIVE, SUITE 300
CHAMBLEE, GEORGIA 30341 U.S.A.
TEL 1-404-762-8404 FAX 1-404-669-9606

IWATA BOLT USA INC. [ナッシュビル支店]
401 AIRPARK CENTER DR., NASHVILLE,
TENNESSEE 37217 U.S.A.
TEL 1-615-365-1201 FAX 1-615-365-1206

IWATA BOLT USA INC. [カナダ支店]
1199 RINGWELL DR., UNIT B, NEWMARKET,
ONTARIO L3Y 8T8 CANADA
TEL 1-905-953-9433 FAX 1-905-953-0167

IWATA BOLT MEXICANA, S.A. DE C.V. [メキシコ本社]
CALZ. LAZARO CARDENAS NO.493-B3
COLONIA FERROCARRILES GUADALAJARA
JALISCO CP44440 MEXICO
TEL 52-33-3666-2370 FAX 52-33-3666-2373

IWATA BOLT MEXICANA, S.A. DE C.V. [ケレタロ支店]
CARRETERA QUERETARO-SAN LUIS POTOSI
NO.24000-B4 SANTA CATARINA, QRO CP76220
MEXICO
TEL 52-442-325-6265 FAX 52-442-325-6254

— ISO14001 認証企業・ISO9001 認証企業・ISO/IEC17025 認定企業 — URL <http://www.iwatabolt.co.jp/> —

イワタボルト株式会社